



2024年2月発行

恵那県事務所振興防災課 家庭教育担当 大島
〒509-7203 恵那市長島町正家後田 1067-71

TEL 0573-26-1111(内線 209)

FAX 0573-25-7129

MAIL oshima-akihiro@pref.gifu.lg.jp

家庭教育「なう」は、恵那県事務所のHPからご覧いただくことができます。 QRコード→



中津川市立坂本こども園 在宅取組型 「市の学力アッププログラムに基づいた取組」

参加者 全園児 保護者

子どもたちの園での活力の基は、家庭での生活環境です。

小学校での学力へとつながります(中津川市学力アッププログラムより)

令和2年度に坂本幼稚園と坂本保育園が統合されて、新たに「坂本こども園」としてスタートしました。このスタートは、コロナ禍真っただ中でしたので、新しく統合された保護者会もなかなか組織できず、苦勞をされたそうです。

これまで両園で実施してきた「親子楽しみ会」も開催できないまま、3年がすぎ、やっと今年行うことができたという。ただ、そんな環境でも、中津川市学力アッププログラムに基づいた家庭への働きかけを継続してきました。

今回は、園長の井口先生に年間の取組の中から、手ごたえを感じた取組を3つあげていただきました。

*中津川市学力アッププログラムとは…

幼保こ小中を通じて、望ましい生活習慣を基盤とした確かな学力(生きる力)の育成を目指すものです。

<園長先生 手応えありキャンペーン>

その1 みそ汁 キャンペーン

9月の学力アッププログラム

「朝食にみそ汁を飲む!」というキャンペーンをはじめます。朝ごはんは、一日の活力の基です。特に体の小さな幼児はたくわえがないので、朝食抜きでは、お昼まで元気に遊べません。

その2 8時に寝よう キャンペーン

12月の学力アッププログラム

「寝たらサンタがやってくる!!8時に寝よう」というキャンペーンです。「寝る子は育つ」…昔から言われていることわざにはちゃんと科学的な根拠があります。



その3 合宿だ「パンツで寝よう!」朝ウンチをしようキャンペーン

6月の学力アッププログラム

「もうすぐ合宿だ!パンツで寝よう!」&「朝ウンチをしよう」キャンペーンです。

夜紙パンツをはいている子 布パンツで寝たら……………白色シール
朝ごはんを食べた後、15分~20分後にトイレにいて座る…茶色シール
うんちがでたら……………金色シール



<取材者コメント>

9月は、運動会の取り組みが始まりますので、その活動とリンクしていると伺いました。味噌には多くの食物繊維が含まれており、腸の調子を良好に保ち、便通をスムーズにする効果があると言われています。

塩分量も適切に、バランス良く摂取したい



睡眠には、疲労を回復し、ストレスを解消する働きがあります。しっかりと睡眠時間をとることは、健康にも成長にも必要です。先日、日本人の睡眠時間が諸外国に比較して短いという情報がありました。快適な睡眠を確保することは、いきいきとした生活につながります。大人も子どもも心がけたい生活習慣です。

この取り組みを通して、おむつが取れる園児が増えるそうです。園と家庭が連携することで目にみえる成果が表れます。

保護者から「朝うんちがこんなにできるとは思わず、『キャンペーンがんばるぞ!』という意欲的な姿がうれしかったです。去年は、全くできなかったもので、いろんな面で成長をかんじました。続けたいです。」といううれしいお便りも届いたそうです。

【このよさを学びたい!】
中津川市のこども園は、市の学力アッププログラムに基づいて生活習慣作りを行っています。坂本こども園でも年間を通して、園の行事に合わせて、適切な習慣づくりを家庭と連携して推進しています。
毎月、主任の先生が、朝活動の際、園児にキャンペーンの動機づけをされています。園児が自分から意欲的に取り組み、家庭がそのやる気を支えるサイクルができています。

恵那市四町（飯地・中野方・笠置・武並）合同乳幼児学級 「クリスマス会」

日時 令和5年12月7日（木）10:00～11:30
場所 恵那市笠置コミュニティセンター ホール
講師 中津川市家庭教育支援チーム すくすく わくわく まあるいこころ
小川さん、青木さん、酒井さん
参加者 親子18組

心からの笑顔！ みんなが安心して楽しめる 手作りクリスマス会



クリスマス会 オープニング

恵那市では、12の地区それぞれで乳幼児学級が行われています。昨年は、恵那市文化センター大ホールに市内の乳幼児を集める形でクリスマス会を実施しました。

今年は、以前のような各町村で行う形にもどして、各乳幼児学級のクリスマス会を計画していました。ただ、少子化の波もあって、四町合同でクリスマス会を実施することとしました。

お招きしたスペシャルゲストは中津川市家庭教育支援チーム「すくすく わくわく まあるいこころ」さんでした。

<クリスマス会の主な内容>



プレゼント コーナー



中津川市家庭教育支援チームの皆さん 親子遊びのポイントを教えてくださいました



クリスマスバルーンづくり



パラシュート遊び



ふわふわシホン遊び

参加者にインタビュー 「参加していかがでしたか？」

- この11月にこちらに来たばかりで、コミュニティセンターの主事さんに誘われて参加しましたが、来てよかったと思いました。この地域のことが少しわかったように思います。
- とても刺激になりました。今回は、参加者も多くて、家では親子二人しかいませんから、多くの同年代の子どもと一緒に遊べて子どもにとって、とってもよかったと思います。



【このよさを学びたい!】

・飯地、中野方、笠置地区は笠周地区として小中学校も連携して教育活動を行っています。そこに武並町が加わって四町での乳幼児学級クリスマス会となりました。少子化の流れもあって、年々参加者が減少していますが、合同で行うことで、参加者も多く、活気のある乳幼児学級となりました。民生児童委員さん3名の応援もあって、地域をあげた子育て支援となりました。

中津川市立加子母小・中学校 PTA 教育講演会 「大前光市講演会 in 明治座」

日時 令和5年12月16日(土) 13:30~15:30
場所 かしも明治座
参加者 児童、生徒、保護者 約120人

唯一無二のダンスとトーク 圧倒的な存在感

「どうだった?」と尋ねると、「人生観が変わりました。」(6年生女子)と即答でした。



中津川市立加子母小学校と加子母中学校は、PTAが連携して毎年、秋に教育講演会を行ってきました。今年も、2016年のリオデジャネイロ・パラリンピック閉会式に出演した義足のダンサー・大前光市さん(下呂市出身)をお招きしての講演会(ダンスとトーク)となりました。

大前光市さん
下呂市萩原町出身。高校時代からダンスに打ち込む。新聞奨学生として働きながら、大阪芸術大学を卒業。国内有数のバレエ団の入団最終選考直前に暴走運転の車にはねられ左脚のひざから下を失う。前述のバレエ団の入団オーディションに挑むも四年連続で落ち、バレエ団からもプロにはなれないと宣告を受ける。しかし、様々な形状の義足で試行錯誤を繰り返し、遂にプロのダンサーとして、高い評価を得るようになる。2017年の紅白歌合戦では平井堅とコラボレーションを展開した。それがNHKスペシャルとなり大きな反響を呼んだ。



義足の説明のシーン



脚を触らせていただけました

講演の内容は、ダンスとトークを交互に行うものでした。ダンスで圧倒的なパフォーマンスを見せつけ、その後のお話しは、具体的でわかりやすく、力強い語りでした。2時間の講演でしたが、最後まで聴衆の集中力は途切れることなく、小学一年生から中学三年生まで魅了されました。

小中のPTAとしては、四年ぶりの講演会でした。案内には「感受性が豊かな時期に、目の前で一流の人の話を聞き、ダンスを見せてもらう体験は一生の宝物になると思います。」と紹介されていましたが、正にその通りでした。

講演の中には、大前さんと小中学生のやりとりも多くあり、写真のようにケガをした左脚に触らせていただける場面もありました。最後の質問コーナーでは、時間いっぱい質問の挙手が途切れませんでした。大前さんは計12個の質問に丁寧に答えていただけました。加子母小中学生の学ぶ意欲もとても高かったです。

大前さんは、最後に「こうしたいという気持ちがあれば、形を変えながらも夢は叶っていく」とお話しされました。最後のダンス(雨ニモマケズ)が終わると、割れんばかりの拍手が長く続きました。参加者にとって、かけがえのない学びの機会となりました。

【このよさを学びたい!】「もう一度大前さんのダンスとお話を聞きたい。」家庭教育委員長の安江さんは、以前下呂市で大前さんの講演会にお子さんと参加してたいへん感銘を受けられました。今年、四年ぶりに教育講演会を行うことになったときに、その思いを強くされ、皆さんの協力もあって、本講演会が実現しました。「この人の話をみんなで聞きたい。」企画をするときに本当に大切にしたいと思います。講演会はいへん感動的なものでした。参加された方は、この感動を家庭で語り合えたことと思います。

企業内家庭教育研修 講話・演習形式 「女性活躍推進合同研修」



日時 令和5年12月21日(木) 13:30~16:30
 場所 中津川市文化会館
 講師 有限会社クレオ代表取締役 女性活躍推進アドバイザー 篠田 寛子 氏
 恵那県事務所振興防災課 家庭教育推進専門職 大島 明浩
 参加者 中津川市役所課長級1年目、係長級4年目 職員33名

女性活躍推進は皆が働きやすく働きがいのある組織を創る基礎 みんなが安心して働ける環境づくりを推進(講話から)



中津川市役所において、女性活躍推進とワークライフバランスに関わる研修会が開催されました。テーマは「女性活躍推進」についてでした。日頃から行政職として市政を推進している課長、係長の皆さん方が熱心に講話を聴き、グループワークを行いました。働きやすく、かつ働きがいのある職場にするためには何が必要かを考え、自分のキャリア・ビジョンを描き、理想の組織にするために自分が実践できることを学びました。

最後に10分ほど時間を頂き、専門職から県の推進している家庭教育事業についてお話させていただきました。日頃から職務に邁進してみえる皆さんです。家庭と職場の安定が自らの仕事も生活も充実させると実感されたことと思います。



グループの交流で様々な視点を学びました。

みんながキャリア開発するために、働きやすく働きがいのある職場にする必要があります。あなたは何かができるでしょうか。

内容 女性活躍推進について

- 1 なぜ今、女性活躍推進なのか?
 - 2 意識作りと組織風土作り
 - 3 組織活性【ハラスメント対策】
 - 4 キャリア開発【長期キャリアデザイン】
- Q&A形式でグループ交流 例
 Q 育児中の女性社員の立場で考える。

出産後、すぐに復帰し、現在はフルタイムで働いている。娘は三歳。上司からプロジェクトのメンバーに推薦するから応募してみないかと言われた。前からやりたかった業務内容だが転職をする必要がある。

プロジェクトに応募する (Yes) 応募しない (No)

A 自分なりの回答 (Y/N) を行い、グループで交流。



企業内家庭教育研修として、家庭教育の大切さについて話しました。

【このよさを学びたい!】

- ・篠田さんは「女性活躍推進は、女性だけを支援するためのものではなく、だれもが社会で活躍できるように互いを尊重する風土が醸成される社会であることが大切です。」と言われます。互いを尊重する姿勢は、家庭においても大切になってきます。
- ・ダイバーシティ(多様性)、インクルージョン(包括)、アンコンシャス・バイアス(無意識の偏った見方)などを意識することで、ハラスメントをなくし、働きやすさと共に、働きがいを高める職場づくりが可能となります。この示唆は明るく豊かな家庭づくりの視点にもなります。